

第82号（2013年1月発行） 目次

■特集 震災後のメディア研究，ジャーナリズム研究

震災後のメディア研究，ジャーナリズム研究	林 香里
——問われる「臨床の知」の倫理と実践のあり方	
調査から見た被災地におけるメディアの役割	橋元 良明
大震災後のジャーナリズム・スタディーズ	大井 眞二
——媒介・メディア化されるリスク・危機・災害	
東日本大震災から考えるメディアとサバルタニティ	坂田 邦子

■論文

満州電信電話株式会社の多言語放送政策®	白戸健一郎
1950～60年代のテレビ・ドキュメンタリーが描いた朝鮮のイメージ®	丁 智恵
BPO「放送人権委員会」の審理に関する批判的考察®	佐藤 潤司
——決定第46号の事例を中心に	
「コミックス」という出版メディアの生成®	山森 宙史
——1960～70年代における新書判マンガ単行本出版を事例に	
学校の中のケータイ小説®	團 康晃
——ケータイ小説をめぐる活動と成員カテゴリー化装置	
メディアのゲートキーピング研究®	佐々木悠亮
——現状と課題	
韓国メディア企業における資本調達および構造の一考察®	森 類臣
——『ハンギョレ』の「国民株方式」を事例に	
裁判員制度の評議と報道®	井田香奈子
——英国陪審制度が示唆するもの	
明治中期迄の写真舗顧客と写真蒐集家齋藤月岑®	緒川 直人
——写真の大衆化の「受け手」論的一考察	
生田正輝先生（日本新聞学会第17・18期会長）を偲ぶ	鶴木 眞

■2012年度春季研究発表会ワークショップ報告

1 政治報道と倫理	記録 徳山 喜雄
2 日本における報道職のキャリア形成	記録 四方 由実
——地方・世代・ジェンダーメディア倫理と公益報道の法理	
3 ジャーナリストの再教育の試みと課題	記録 谷藤 悦史
——日本の現状を踏まえて	
4 放送をめぐる批評空間の役割と課題	記録 大谷奈緒子
——1950～60年代における“放送論壇”を手掛かりに	
5 占領期のメディアと文化人	記録 井川 充雄
——大宅壮一の活動をめぐって	
6 モバイル・コミュニケーションは如何に社会関係資本を蓄積できるか	記録 加藤 倫子
——日韓の社会文化的側面から検討	

- | | | | | |
|----|--|----|----|----|
| 7 | 少女向けテレビアニメにおける「外国」と「日本」のイメージ | 記録 | 谷本 | 奈緒 |
| 8 | 東アジアにおけるメディア交流の課題と可能性
——「日韓中テレビ制作者フォーラム」を事例として | 記録 | 村上 | 雅通 |
| 9 | 政治・社会の多元性とマス・メディア研究ないしマンガ研究
——ポピュリズムにマス・メディアはどう関わるか | 記録 | 茨木 | 正治 |
| 10 | ポピュラー音楽と社会関係資本
——ポピュラー音楽は細分化するか? 統合するか? | 記録 | 赤上 | 裕幸 |

■研究会の記録（2012年11月～12月）

権力監視型調査報道の必要条件と十分条件

テレビ研究における「口述資料」「証言」の可能性

——草創期「放送人」の相関関係を抽出する試みを例として

- 日本マス・コミュニケーション学会『マス・コミュニケーション研究』投稿規程
- 日本マス・コミュニケーション学会『マス・コミュニケーション研究』執筆要領
- 英文抄録